

15. 第5－6回高木レクチャーについて

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は、世界から卓越した数学者を日本に招き、専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし、創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき、日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています。高木レクチャーをもとにした研究総説は、査読を経て **Japanese Journal of Mathematics (JJM)** に掲載されることになっています。

この趣旨に基づき「高木レクチャー」の創設が2006年3月26日(日)、中央大学で開かれた日本数学会評議員会で承認され、2006年11月に第1回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されて以来、これまでに5回の高木レクチャーが開催されました。

この数学通信では第5回の報告と、第6回の予定をお知らせいたします。

第5回高木レクチャー(2008年10月4日(土)－5日(日)、東京大学大学院数理学研究科)において、J.-P. Bourguignon氏(フランス高等科学研究所)：「リッチ曲率と測度」、É. Ghys氏(フランス国立科学研究センター・UMPA)：「右手型ベクトル場とローレンツ・アトラクター」、M. Kontsevich氏(フランス高等科学研究所)：「ホロミックD加群と正標数」、N. Nekrasov氏(フランス高等科学研究所)：「インスタントン分配関数とM理論」の講演が行われました。参加者は200名を超え、大盛況となりました。当日には、予稿の冊子が配布され、その最終版の研究総説は査読後、JJM Vol. 4-1 (2009年3月)で出版されました。講演のビデオは東大数理 Video Archives プロジェクトチームにより撮影編集が行われ、web上で一般公開しております(下記の高木レクチャーホームページをご覧ください)。

第6回高木レクチャー(予定)

日時：2009年6月6日(土)－7日(日)

場所：北海道大学理学部3号館309室

講演者：M. Khovanov(コロンビア大学)：

「Categorifications from planar diagrammatics (平面図表によるカテゴリフィケーション)」, D. McDuff(コロンビア大学バーナード校)：「Symplectic embeddings and continued fractions (シンプレクティック埋め込みと連分数)」

組織委員：小野薫, 河東泰之, 小林俊行, 斎藤毅, 中島啓

当日は、各講義の概要を冊子にて配布する予定です。

高木レクチャーのHP

http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/で最新情報を掲載いたします。

なお、数学会会員はJJMの各冊子を会員割引価格7500円(＋税375円)で日本数学会事務局より購入することも可能です。

(小林俊行 記)